

「地震への備えチェックリスト」 チェック☑しましょう

家具類の転倒・落下・移動防止対策

- けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置している。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしている。
 - ・転倒防止金具などで固定する。
 - ・2段重ねの家具類は、上下を平型金具などで固定する。
 - ・棚などは、重いものを下に収納し、重心を低くする。
 - ・棚やタンスなどの高いところに危険なものを置かない。
 - ・食器棚などに収納しているガラス製品が転倒したり、滑り出ないようにしておく。

けが防止対策

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラス飛散防止フィルムを張るなどの、飛散防止措置をしている。
- 散乱物でけがをしないように、スリッパやスニーカーなどを身近に備えている。
- 家具等が転倒・落下する可能性がないところに寝ている。
- 停電に備えて、懐中電灯をすぐ使える場所に置いている。

家屋や塀の強化対策

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強を行っている。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強している。

火災防止対策

- 普段使用しない電気器具は、コンセントから差込プラグを抜いている。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置している。
- 初期消火のため消火器を設置している。

非常時持ち出し品の準備

- 非常時持ち出し品は置く場所を決めている。
 - ・両手が使えるリュックサックなどに入れて、取り出しやすい場所に置いておく。
 - ・食料品は3日分程度（飲料水は1人1日3ℓを目安に3日分）。
 - ・季節によって準備するものを入れ替えるなど、定期的に非常時持ち出し品の内容を確認し、あわせて食料品の賞味期限等も確認する。
 - ・携帯電話、スマートフォンなどの予備バッテリーなど、必要な電源も確保しておく。

家族や近所で自助・共助

- 家族で避難場所や避難経路を確認している。
 - ・実際に歩いて所要時間を確認する（自動車等が使用できないことを想定する）。
- 外出中に地震が発生し、帰宅困難になった場合の安否確認の方法や集合場所、避難場所などを決めている。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険な場所や安全な場所を事前に確認している。
- 普段から近所付き合いを大切にするなど、近所で助け合う体制を築いている。

「非常時持ち出し品 チェックリスト」



※乳児のいるご家庭は、母子手帳、ミルク（液体ミルク・粉ミルク）、ほ乳びん、紙おむつなども準備するなど、各家庭の家族構成に応じて必要なものを準備しましょう。

■ 飲料水 1人1日3ℓが目安。 	■ 医薬品 消毒薬・膏薬・脱脂綿・バンドゥ・包帯・持病の薬。 	■ 手袋（軍手） ガレキの撤去や救助ができるように、厚手のものを用意。 	■ 乾電池予備 ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。 	■ マッチ・ライター 湿気やガス切れに注意。防水マッチも市販されている。
■ 食料品 乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。 	■ 貴重品 現金（小銭も）・預金通帳・印鑑・健康保険証・母子健康手帳など。 	■ ろうそく 濡れない様にビニール袋に入れて、保管する。 	■ 衣類 雨具・下着・ジャンパー・タオルなど。 	■ ラジオ 情報収集に欠かせない。懐中電灯と一体型のもも便利。
■ 缶切り 多機能なものが便利。 	■ 懐中電灯 夜間、すぐに手の届く場所に。 	■ ヘルメット・防災頭巾 飛来物や落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せる所に。 	■ 毛布 寝袋や体温を逃がさないサバイバルシートなども重要。 	■ 運動靴 避難する時にケガを防止するために、すぐに取り出せる所に。

若者の自殺者数に驚き 我が神崎市は!?

3月17日の佐賀新聞朝刊に『小中高生の自殺 過去最多』の記事が掲載されていました。

内容は「2020年の小中高生の自殺者数が統計の始まった1980年以降最多の499人にとった。前年に比べ100人増。年代別では、10代、20代の増加が顕著で前年比522人増となった。日本全体での自殺者は2万1,081人で、前年から912人増となっている。中でも女性の自殺者の増加が目立ち、前年比935人増で7,026人だった」となっています。

これを読んで、驚くと同時に、我が神崎市はどうなっているだろうか、即座に思いました。このことから、市民福祉部長のもとに出向き、本市の自殺者数の実態を尋ねました。その結果は下表のとおりです。

この表を見る限り、神崎市と佐賀県は増加しているとは読み取れないが、もっと長い年数でみるとどうかと思うところですが、神崎市内におい

【神崎市】

年	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人数	8人	7人	7人	7人	10人	5人

【H26以前の神崎市】

年	H21	H22	H23	H24	H25	H26
人数	11人	6人	5人	11人	5人	9人

【佐賀県】

年	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人数	151人	142人	132人	144人	141人	118人

資料：警察庁「自殺統計」※総人口（外国人を含む）を対象とし、発見地を基に自殺死体発見時点で計上

て年間に10人前後が尊い命を自ら断たれていることを知るに驚愕します。あたたかも、日一日と平穏なうちに経過していると思っ

る地域における実践的取り組みが推進されることとなりました。神崎市は、このことを受け、平成31年に「神崎いのちを支える自殺対策計画」を策定し、大きく5つの取り組みを掲げて推進してま

皆さまの声をお聞かせください！
5月は第1火曜日ではありません。

夜の市長室

○今後の予定

とき	ところ
4月6日(火)	脊振交流センター
5月6日(木)	神崎市役所

18:00～20:00（1組30分程度）
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

3月の千代田町保健センター開催分には、4組5人が来庁されました。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

※荒天などの場合は、開催の有無をお問い合わせください。

小中高生の自殺者の増加の原因として、厚生労働省は、「新型コロナウイルスス禍で学校の長期休業や外出自粛により家族で過ごす時間が増えた影響で、学業や進路、家庭内の不和などに悩む人が増加したのでは」と指摘しています。

家族の絆、地域の絆、広く市民の絆を太く、強力でできるように、皆様のご理解とご支援、さらに実践を期待するものです。よろしくお願ひします。

(令和3年3月17日記)

神崎市長 松本 茂幸

市長交際費の公表

(令和3年2月分)

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	0	0
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	2	4,444
計	2	4,444